**2021年6月23日運天さんお話し**

システムの組み方

各時間単体で状況出した。

どこで転換するか各単体で出している。

その時かえってくるか来ないか。

多段で伸ばすか、転換するかどちらかしかない。

それから時間を統合する。

統合するときに、基本は返すというけど、

前足で見たらふっている。

山の頂点は、前足と一緒に返す。

その区間の中に一緒に返すとなったところいくつあるか。

多段の時、

追加か、ヘッジ方向か、分けられる。

追加方向の時、レンジ超えているかどうか。

転換してくると言った時、

転換のレンジ超えてくるかどうか。

これができたら、もみ区間、うちに入っている区間特定できている。

うちに入っている区間の特定、

これは時間単体で特定できる。

１分、５分、繋がっていく、1分おろしても5分までつながっているか。

転換しているときに、内方がどこまでつながっているか。

返していくところは、１分と５分がつながってないと返してこれない。

基本的に、ここの部分は、15分までは返さないという状況。

15分につながるなら、15分のレンジを超えていない。

返して伸ばしても、15分を超えていくかが問題。

その間に、15分が横に、流してきて、一緒に返してこれるということ。

ヘッジ方向と追加分かれているから、同方向、逆方向、分かれている。

ヘッジ方向は返してからだと遅い。

ヘッジ方向出して、何分まで、が分かれば良い。

その部分で、もみの部分が別れる

同方向追加で入っていける

同方向の部分で入っていると、

最後は入っていけない

そこはPのところは入ってはいけない。

もみは決して追加で入らない。

区分して、信号を出す。

まずは区分、今何がきているか。

始値つけた時それが何かがわかる。

始値つけたとき、流れが見えている。

15分の始値つけたとき、15分は多段で下に返さない。

1分5分きているということなら。15分は返さない。

それは髭になるという話し。

始値つけて、どっちにいるか。

今足としては結合しない。

維持の部分と、信号を整理して持っておく。

それでいくと言ったか言ってないか。

エントリーどこでするか、決済どこでするのか、区分を分けてから。

ヘッジの返しをとりにいくのは、それはそれ。

追加もそれはそれ。

ポジションの区別を分ける。

流れを一回見て、

まず全部一回出してから、その区間は入らない、

もみになっているところはそれで特定、

それも始値つけた時。

始値付けた時、今足返すと言ったか、言ってないなら、多段。

返したとしてもレンジを抜けたのか。

レンジ抜けてない場合は、先足が返すと言っているか。

返せる確認ポイント側にいるのか。

抵抗線に当たる、だから？

当たった始値の部分で、上にいるのか下にいるのか。

その時に、返すと言ってるのか、帰りの方向にいるのかいないのか。

まずは各時間で流れを取る。

遅いから内方で取る。

いくと言ってるか、言ってないか流れを見る。

平均足で、流れ見てから詳細を見ている。

平均で見て、実勢乖離して、乖離した後始値つけて、

指標が返すと言ってないなら、それは多段。

返すまでは、もみでとる、ヘッジもかかっているから問題ない。

流れが変わったのか、価格が更新し続けないのか。もみは接続して、結合してない。

4時間が返すと言っている時に、パラボレンジがすぐに上にきていて、

５分が上に行くと言って、それで上に行くのか。

同逆も持っているので、

それで判定かけて、時間足判定。

伸ばし続けているときは、

同逆ではどこに行くと言っているのか。

同逆がどうなっているのか、

時間が来た時に返すか返さないか出ている。

それを合わせている。

同逆を見るための指標は出しておく。

素材を出して、各時間で出す

もみの中で、事前に指標として出す。

素材として必要。それがないのに、どうやって時間を合わせられるのか。

時間を合わせて、始値どっちについているか。

<状況確認する>

行くと言ったか、

返すと言ったか

維持してるか、

どこの話しをしているのか。

同逆でどこの話しか

始値が平均線より上か下か。

4時間の足

素材作って、区分する

状況判断には、順番は必要ない

答え出すために順番通りにやっている。

平均足を出して、同逆を出す。

各時間を出して、切り分けて同逆使う。

それには順番が必要。

確認する素材を作るには順番が必要。

状況を見るのは順番関係ない。

出しているものは全部見る。

同じことを指し示すようになる。

各指標の部分で、平均使っているので、その時点でもう誤差が発生している。

どこの場所で、どういう状況かを聞いている。

ロジックで考えるのは順番必要ない。

システムを組むのは順番が必要。

始値で状況状態区分をして、時間合わせた時に同逆がわかって、エントリー種属が分けられて、入る入らない、持ち越す持ち越さないが決まる。

遷移するために必要な確認ポイント。

区分、属性を最初に分けてそこから進める。

状況はわかって、

エントリーの属性で、

追加なのかヘッジなのか、

64含めて、その時の関係どうなっているか。

エントリーの属性、同逆出ているから、

その時の状況はどうなっているか。

素材があって、状況状態が決まって区分されている。

エントリーのエンジンがあって、

決済のエンジンがあって、

遷移のエンジンがあって、

それぞれがある。

どの区分のエントリーはどうなる。

このエントリーは遷移するしない、とやっていく。

それの何がわからない。

エントリーの属性が分かれている

それを分けた上でどうなるのかという話し。

その属性に対して、いくか行かないかがわかる。

その時に見る指標は同じ。

始値を基準に見る。ずれようがない。

その時間が来るまではずれようがない。

まずは全体の状況を分かった上で、

短いところもわかるようになる。

全時間足で、状況状態の区分を出す。

それを割り込むにはどこまで行かないといけない。

その基準を決める。

共通の基準で見ている。

つながってましたはいらない。

15分のヘッジで負けてるのか、

何分のヘッジで負けているのか、

同逆どこで負けているのか、

同逆の時に行く行かないの時にどこで負けているか、

その区分の時に状況状態はどうなっているか。

同逆わかった、状態わかった、勝ってる負けてるわかる、

それがどの位置？

何分のどこか？パラボなのか、もみのところか遷移どうなっているか。遷移できたのかどうか。

同逆はどこで負けているのか。

何分のどこで負けているか。

まず何個区分しているのか。

まずは同逆の区分はどれか。

区分において、どうなっているか判定するだけ。

まず、各時間で入れるか入れないか決める。

先の部分でも、同逆で揃って良いというところがあったらそこは入って良いところ。

まずはエントリーして良いかどうかが先。

(入って良くないところで遷移させない)

まずそれが維持されているか、

加速されているのか、

まずはエントリー出してから。

それは弱追加か、強追加か。同逆でわかる。

手前で、多段になっているところ、確認ポイント生まれている。

もみになったところで、行くと言ったか言ってないか。

もみになったところで、途中段階で、行くと言ったかどうか。

エントリーの種別がわかって、母数が出て、出たところでもみになっていた時に、行くと言ってたのか。

それで、その次に追加で入って良いところと悪いところがある。それを抜く。そしたら遷移させるかどうかが自ずと決まる。

答えば出てからじゃないと判定出せない。

そのもみになったところ、

どうなるか判定かけてからじゃないと遷移させて良いかわからない。

エントリーを決めて、状況状態をみる、

それで決済するところは決済する。

それ以外は遷移させる。

絞り込んだ瞬間に残りは答えが出ている。

遷移させるの意味は決済しないということ。

遷移させるか、させないかの区分と

遷移したかどうかは別の話し。

まずは今足として遷移させるかどうかが前提として、

内方で見て、今足としていけるかどうかを判定した上で、短いのが揃って、遷移ができた、結合ができたという話し。

それまでの間は、接続状態、決済して、この部分はとる。

この部分で足確定したものは、ここで遷移確定して結合。

今足の遷移か、接続/結合のための前足からのポジション遷移か。

まずパラボ来てたら追加で入れない。

ポジションで同逆属性、

それで今足でエントリーできるかどうか

始値の上できているのか、下にいるのか。

最終的な部分になって、

何分と何分でどうなっているということになる。

何分のヘッジは入った方が良い、というのが出る。

そのエントリー属性で、入る入らないと、待った方が良い、というのが出る。

OPとしては、全部出す。

Pipsがない場合はやらないという選択肢。

指標を組み合わせたら、入るか入らないかが出る。

入るもの、遷移させるもの、と自ずと出ているはず。

確認するポイント出て、時刻が出ている。

その時刻でバックテストする。

5分まではヘッジは入らないとか、

返すところは入らない、1分が確定して、始値つけて更新しないという段階で入らないと決めるだけ

接続/結合の定義